

区議会公明党 総務委員会で質問

**助成金  
増額!**

**耐震工事助成制度が拡充!**

改修工事補助の拡充について (昭和56年以前建設の住宅)				
住宅	住民税	補助	現行	⇒ 拡充案
戸建住宅	課税世帯	補助率	23%	⇒ 50%
		限度額	木造	75万円 ⇒ 100万円
			非木造	100万円 ⇒ 150万円
	非課税世帯	補助率	2/3	⇒ 2/3 (変更なし)
		限度額	木造	100万円 ⇒ 木造、非木造とも 150万円
			非木造	150万円
分譲マンション	—	補助率	23%	⇒ 50%
		限度額	1戸あたり75万円	⇒ 1戸あたり100万円

**問** 江戸川区は、これまで住宅の耐震補強工事に助成金を出していましたが、私たちは自己資金的な部分でどうしても思い切れないケースの相談を多く受けて来ました。

**答** 私どもとしては、本会議の中で区長が答弁申し上げたように、より95%という耐震化率に向けて、制度を拡充することは、かねがね検討していたし、現在も少し具体的に時期、見直し幅等について検討をしていますので一定の方向性が出ればご相談もしたいと考えています。

**問** 前向きな答弁を頂きました。私たち公明党は、この際、江戸川区の住宅耐震化率を更に上げるために思い切った施策運営を強く要望します。



公明党委員

都市開発部長

公明党委員

第2回定例会の総務委員会で、区議会公明党は、昭和56年以前に建設された住宅の耐震補強工事助成制度について、**耐震化率向上のために助成金の増額を強力に要望をしました。**その後、7月12日の区議会建設委員会にて住宅耐震助成金を増額するとの発表がありました。この要綱は9月1日の施行となります。この際は、総務委員会での質疑の要旨を報告します。

**江戸川区小松川防災施設完成!**

小松川1丁目7番、さくら大橋のたもとに「小松川防災施設」が完成し、去る4月1日より供用が開始されました。広域避難場所である大島小松川公園には災害時の備蓄品倉庫や応急給水槽も準備されていますが、災害時の指揮所となるところがなくともあり、私たち区議会公明党が要望していた災害対策の更なる充実に沿ったかたちで、指揮所の設置と備蓄品の充実がはかられました。



主な備蓄品

毛布 約3600枚

カーペット 約800枚

やかん 約2400個

梅干し 約320樽



小松川防災施設

4F 事務室 (指揮所)

事務室内の様子

3F 倉庫 (備蓄物資)

2階・3階 備蓄品の状況

2F 倉庫 (備蓄物資)

梅干しの樽を置いた棚

マンホール対応トイレ

1F 荷物捌きスペース